

非常持出品

(災害発生時に持ち出す物。あまり多くしないで、すぐに取り出せる場所に保管。)

懐中電灯

できれば一人一つ用意。予備の電池と電球も忘れずに。



携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFM両方聞けるものを用意。予備の電池も忘れずに。



非常食・水

カンパンや缶詰など、火を通さずに食べられるものを。水はペットボトルが便利。



貴重品

現金、通帳、印鑑、健康保険証、住民票のコピーなど。



救急医薬品

傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など。常備薬があれば忘れず用意。



その他

ヘルメット、下着、タオル、軍手、ライター、ナイフ、ビニール袋、ティッシュ、ビニールシートなど。



非常備蓄品

(災害発生後の数日間を支える生活物資。)

食品

缶詰やレトルト食品、ドライフーズや栄養補助食品、調味料など。食料は非常食3日分を含む数日分を備蓄しておく。

水

飲料水は大人一人当たり、1日3ℓが目安。少なくとも3日分の用意を。ペットボトルのほか、ポリタンクにも貯めておくと便利。

燃料・その他

卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベのほか、毛布、寝袋、洗面用具、ラップ、使い捨てカイロ、ロープ、パール・スコップなどの工具、マスク、トイレットペーパー、予備のメガネ、バイク、自転車、ドライシャンプーなどがあると便利。



非常持出品・非常備蓄品を準備しましょう!

日ごろから避難するときに持ち出す「非常持出品」や避難から復旧までの数日間の生活物資となる「非常備蓄品」を準備しておきましょう。

準備しておかないと

どうなる??

大災害が発生した場合、水道などが使用できなくなったり、道路の破損などで救済活動がすぐに行えない可能性があります。数日間は自足できるように準備をしておきましょう。

※乳幼児や妊婦および要介護者等のいる家庭では、ミルク・哺乳ビン・母子手帳・障害者手帳・補助具など、それぞれ事情に合わせて準備しておきましょう。



ラポイント情報

「定期的に中味のチェックを！」

非常持出品・非常備蓄品は使うときに支障が無いように、定期的な点検が必要です。賞味期限・使用期限が迫ったものから順に入れ替えましょう。食品は缶詰など、普段から良く食べているものに入ると入れ替えがスムーズにできます。

◇この「防災情報おかや」は岡谷市ホームページの「岡谷市防災BOX」へも掲載しています。「防災BOX」には他の防災情報も掲載されていますので、ぜひご覧ください。



防災体験パーク 防災グッズコーナーのようす (1月16日)